

## 令和7年度の教育に関する重点施策に基づく事務事業

総合教育会議 資料3  
令和8年2月4日  
企画部企画政策課

### I 確かな学力や豊かな心の育成と健康・体力づくりの推進

	事業名(所管課)/ 事業の進行管理・評価を行う計画等	事業概要	令和7年度の実績(実績) 数値は速報値
1	戦後80周年平和大使派遣事業 (協働コミュニティ課)	企画検討の段階から子ども・若者と一緒に平和について考える、子ども・若者ワークショップを発展させ、次世代の活動へとつなぐ事業を実施する。	<p>&lt;実施内容&gt;事前学習を通じて戦争や平和に関する知識を学び、広島での体験などを通じて戦争や平和の重要性を自分事としてとらえ、発表の場などで広く発信した。</p> <p>&lt;平和大使の構成&gt;中学生8名、高校生4名 ※若者スタッフ:「未来に平和をつなぐプロジェクト」大学生等7名</p> <p>&lt;活動実績&gt;事前学習会(2回)、広島派遣(8/5~7)、事後学習会(3回)、発表会(9/14) ※その他、非核・平和パネル展(8/15)、市民まつり(11/8)のほか、在籍校での発表、ラジオ番組の出演など</p>
2	森林をフィールドとした環境学習事業 (環境政策課)	昨年度に引き続き、友好都市である北杜市との連携による親子を対象とした森林学習事業を実施する。	<p>北杜市環境学習親子ツアー(11/29実施)</p> <p>日帰り北杜市明野町にある「にしとうきょうの森」及び森林伐採の見学や、北杜市の親子との交流を図りながら、ほうとう及び木工時計作りを行った。アンケートでは、「親子で学べ、体験できて良かった」「日常生活では経験できない貴重な機会だった」といった声をいただいた。</p> <p>&lt;参加者数&gt;西東京市民の小学生親子18組36人(2年生3組、3年生5組、4年生3組、5年生3組、6年生4組)、北杜市民の小学生親子7組24人</p>
3	GIGAスクール構想における タブレット端末の更新 (教育指導課)	個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実に向け、令和2年度から児童・生徒一人ひとりに配布しているタブレット端末について更新を行う。	<p>端末整備・更新計画を踏まえ、令和7年度は15,243台を更新した。R6年度に一部導入した238台を含めると、合計15,481台が新しい端末に更新され、児童・生徒分の更新率は100%となった。</p> <p>これにより、令和8年1月(3学期)から新タブレットの活用が可能になるとともに、新規に導入する学習支援アプリの活用により、学習者主体の学びに向けた授業改善を一層推進し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。</p>
4	子どもの読書環境整備 (図書館) 【西東京市教育計画 1-2-④】	「西東京市子ども読書活動推進計画」を推進し、保育園、幼稚園、学校、児童館、学童クラブなどでの子どもたちの読書環境の更なる整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園等に図書館資料の団体貸出を行った。12月までに476団体、合計33,412点。</li> <li>・除籍した児童図書等を乳幼児施設に配布した。12月3日に21施設、合計1,801冊。次回は1月28日に実施予定。</li> </ul>

## II 子どもが健やかに育つ環境を整える

	事業名(所管課)/ 事業の進行管理・評価を行う計画等	事業概要	令和7年度の取組(実績) 数値は速報値
5	「ほっとルームレター(ミニレター)」の拡充 (子ども若者応援課)	市内全ての市立小中学校で実施するとともに、市外の学校に通う小中学生も対象とするなど、取組を拡充する。	子どもが相談しやすい環境づくりのため、ほっとルームレターの対象を、市内すべての小中学校の児童生徒及び市内の私立中学校に通う生徒に拡充した。対象を拡充する際には、ほっとルームレターの色や説明などについて、子どもからの意見を取り入れ、子どもにとって分かりやすく、相談しやすいように工夫した。 市立小中学校に通う児童生徒には、GIGAタブレットの壁紙を利用した周知なども実施し、学校での出張授業や出張ほっとルームなどでも周知を図っている。 <ほっとルームレターによる相談等件数> 55件(令和7年12月時点)
6	子ども家庭センターの運営 (子ども家庭課)	母子保健と児童福祉の一体的な相談支援を進めるための子ども家庭センターの運営を行うとともに、新たに子育て支援ショートステイ事業の拡充を行う。	・7月の組織改正、11月の執務室の統合をもって、母子保健と児童福祉の一体的な相談支援体制の整備が完了した。 ・3歳以下のお子様のいる世帯のうち、一般的な子育て支援よりも手厚い支援を必要とする世帯(中間層)について、サポートプランを作成し、支援方針や支援内容を明確にするとともに、必要に応じて迅速に子育て支援サービス等につなげた。 ・1歳6か月～小学校6年生までであった子育て支援ショートステイ事業の対象を、生後4か月から利用できるように拡充した。
7	ヤングケアラー・コーディネーターの配置 (子ども家庭課)	家庭の状況に応じた相談や適切な支援に繋がられるよう、子ども家庭センターにヤングケアラー・コーディネーターを配置する。	令和7年4月1日から、子ども家庭センターにヤングケアラー・コーディネーターを1名配置し、ヤングケアラー実態調査の実施・分析、周知用カードの作成、普及啓発のための動画作成などを実施している。
8	インクルーシブ教育の充実 (学務課・教育指導課) 【西東京市教育計画 2-1-②】	障害の有無にかかわらず、全ての子どもができるだけ同じ場で、ともに学ぶことができるよう、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、基礎的環境体制と条件整備の構築を目指す。	・令和8年度からの特別支援学級開設に向けた教室改修・備品調達等を行った(住吉小学校、本町小学校、けやき小学校、柳沢中学校)。 ・令和7年度教育課程では、小学校11校・中学校8校がインクルーシブ教育の充実を掲げ、通常学級と特別支援学級との交流や取組を実施している。 <取組事例> ・運動会では準備の段階から通常学級に特別支援学級の児童が入り、一緒に演技を行った。 ・給食時には、全ての児童が交流できるようローテーションを組み、特別支援学級と通常学級の児童5名を入れ替え交流を図っている。 ・特別支援学級の先生が全学年の通常学級の児童・生徒・教員に対し、特別な支援を要する児童についての授業を実施している(3学期に実施予定の学校もあり)。新1年生には、4月に実施。 ・教員向けに、ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業の取組の研修を実施している。

### Ⅲ 学校を核としたまちづくり

	事業名(所管課)/ 事業の進行管理・評価を行う計画等	事業概要	令和7年度の実績(実績) 数値は速報値
9	放課後子供教室の充実に向けた検討委員会の設置 (地域学習推進課)	コミュニティ・スクールや学童クラブとの連携を図りつつ、あり方等を検討するための委員会を設置する。	令和7年度は7回の会議を開催し(12月時点)、現状の把握や課題点の整理、利用者へのアンケート調査、他自治体への視察や運営団体へのヒアリングなどを行った。 令和8年2月を目途に検討委員会での意見等をまとめる予定としている。
10	学童クラブ過密化の解消対策 (児童青少年課)	タイムシェアを市内7校で実施するとともに、開設に向けた(仮称)田無柳沢学童クラブの整備工事を進める等、学童クラブの過密化解消に取り組む。	市内7校(保谷小学校、保谷第一小学校、碧山小学校、柳沢小学校、向台小学校、谷戸第二小学校、明保中学校)でタイムシェアを実施した。 田無柳沢学童クラブの整備工事が完了し、令和8年1月に定員120名の学童クラブを開設した。
11	田無第三中学校の建替えに向けた検討 (公共施設マネジメント課・教育企画課)	建替場所のほか、周辺公共施設との複合化や学校施設の地域利用、学校の将来像となる基本構想、必要諸室や施設のゾーニングといった基本計画について、田無第三中学校周辺エリア構想と併せ、分野横断的な視点から一体的に検討する。	学校の位置については、令和7年7月に「西東京市西原町三丁目4番1号(現在地)」と決定された。田無第三中学校建替協議会については、令和7年度に計6回開催され、令和7年12月に「西東京市立田無第三中学校建替協議会 基本構想・基本計画検討結果報告書」が教育長に提言された。
12	学校施設の適正規模・適正配置の検討 (教育企画課) 【西東京市教育計画 3-4-④】	児童生徒数及び学級数の推計など様々な視点で学校施設の適正規模・適正配置の検討を行い、子どもたちにとってよりよい学校環境づくりを目指す。	学校施設適正規模・適正配置等検討懇談会を4回開催し、適正規模の基準の検討に当たり、児童生徒数、学級数の推計及び教員等へのアンケート調査の検討を行った。

#### IV 学びの機会の充実と地域の学習資源の活用

	事業名(所管課)/ 事業の進行管理・評価を行う計画等	事業概要	令和7年度の取組(実績) 数値は速報値
13	学生ボランティアによる講座やイベントの開催 (公民館)	学生ボランティアによる講座やイベントを開催するなど、公民館が多世代のサードプレイスとなるよう努める。	ヤギフェス(柳沢公民館)、SDGsサポーター事業(田無公民館)、夏休み青少年ウィーク(谷戸公民館)、こわーいお話を聞く会(ひばりが丘公民館)など、各館主催の事業において、これまでに延べ333人の学生ボランティア(中高生、大学生)が関わり実施をした。
14	読書環境の充実 (図書館)	大学生ボランティアとの協働により、保育園・児童館や放課後子供教室へのアウトリーチ型連携事業を推進する。	・保育園等で乳幼児向け「おでかけおはなし会」を12月までに12回実施し、そのうち2回、大学生ボランティアが参加した。1月以降も10回実施のうち7回、大学生ボランティアが参加予定。 ・放課後子供教室での「出張おはなし会・ブックトーク」を12月17日に小学校1校で実施した。1月21日は大学生ボランティアも参加予定。
15	下野谷遺跡史跡指定10周年シンポジウムなどの開催 (地域学習推進課)	史跡指定10周年に合わせたシンポジウムやイベント等を開催するほか、ガイド機能の充実を図るためのモニターを設置するなど、史跡の保護と活用に取り組む。	・令和7年12月に史跡指定10周年記念シンポジウムを開催した。256人の来場者があり、下野谷遺跡の普及啓発と魅力の発信を一層進めることができた。 ・遺跡を訪れた方々が、遺跡の紹介や解説の動画をいつでも見ることができるようモニターを設置し、ガイド機能の充実を図った。
16	ハンディキャップサービスの充実 (図書館) 【西東京市教育計画 4-1-①】	音訳・点訳などの資料の充実や対面朗読などにより、活字での情報収集や学習が困難な人への学びの機会をサポートする。また、活字による読書が難しい児童のためにマルチメディアデジターの普及に努める。	・ハンディキャップサービスの資料の巡回展示を図書館3館(芝久保図書館、柳沢図書館、保谷駅前図書館)で行った。 ・音訳・点訳等の資料を紹介する講座を小学校4校(けやき小学校、保谷第一小学校、芝久保小学校、住吉小学校)、13クラスで実施した。 ・マルチメディアデジターを体験する講座を小学校1校(東小学校)、1クラス(特別支援教室)で実施した。